三里塚長期決戦勝利！要塞死守！執行吏友納打倒！

全日本学生自治会総連合
全国反戦連絡協議会

ゴルゴタの丘～戦線

地下壕坐り込み農民と連帯し 土地強制収用を実力で阻止せよ!!

○要塞は強固に築き上げられた

五年余にわたって闘われてきた三里塚空港建設反対斗争は、臨戦状態に入っている。

三里塚農民は第一次収用対象地に地下壕を堀り、内部を迷路のように入れ組ませて、ここに死を覚悟で坐り込みに入った。

「土地を武器にして権力と闘かう」として、農具を使い六カ所に地下壕を堀り、食糧・水・武器をもって泊り込みを開始したのだ。

それは支配者が、一日二億円、千名の建設労働者、五百有余の工事機械によって進めている工事を圧倒する反撃力として、はっきり勝利の確信に結びついている。

○少年から老人まで決死の覚悟である

少年行動隊は十五日、芝山中学校で集会を開き、全校の生徒、教師に起ち上ることを訴えた。少年行動隊は決起集会を開き、同盟休校を準備し、連日、成田市区と周辺小学校にビラ入れを行ない、三里塚高校生は、全千葉の高校生に空港粉砕！強制執行実力阻止のビラ入れとデモを行なっている。

老人決死隊は「要塞を決意の執念場として各自が築き上げる」としてあらゆる所で権力と対決すると、故小川明治さんの遺影をしょって闘志をたぎらせている。

○友納代執行に踏み切る

農民・労働者を殺さんとする友納は、十五日首相官邸で保利官房長官と会談し、二月十六日代執行を告示、二十二日から強制代執行を開始することを決定した。

市原から船橋までの農漁民の生活を工業開発のためと称して破壊しつくした友納は、ふたたび北総台地の農民の生活を破壊し、千葉新都市計画にもとずき、京葉・鹿島に奴隷労働者として繰り込まんとしている。

「水ぜめ」「煙ぜめ」という手段によって、千葉のみならず日本の農業を支えてきた農民を、犬コロのように扱おうとする悪虐非道を行なおうとしているのだ。私達は諸君とともにこれを許してはならない！

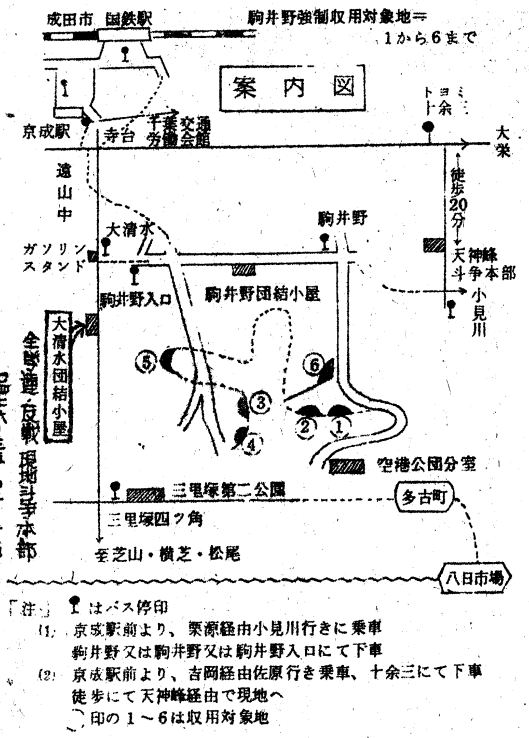
執行吏友納を打倒せよ！

○三里塚現地にはせ参じ、強制代執行を阻止しよう！

現地反対同盟に圧倒的支援を！

国家と資本の強権発動に対して、物言わぬ農民・物言わぬ労働者であってはならない。

農民の苦痛は、全労働者・人民の苦痛である。新全総から経済社会発展計画、総合農政の展開は、日帝が、アジアの労働者・人民への抑圧と、国内の官僚的・軍事的支配力の強化のために進められている。今斗われている沖縄人民の斗いとともに、この三里塚農民の斗争と徹底して結びつき、工場・職場・学園から一斉に決起しよう。

斗いに主体的に参加し、連帯し、支援することを訴える。

連絡先　青年文化社　三五一―三四三九